

お 知 ら せ

平成 2 1 年 2 月 2 0 日
東 北 電 力 (株)

女川原子力発電所 1 号機における誤信号による 非常用炉心冷却系の作動について

平成 2 1 年 2 月 1 9 日 2 3 時 3 7 分頃、定期検査中の女川原子力発電所 1 号機（沸騰水型、定格電気出力 5 2 万 4 千 k W）において、一部の非常用炉心冷却系^{* 1}が誤信号により作動しました。

原因は、非常用炉心冷却系に信号を送る系統の点検を実施していたところ、操作を誤ったため、実際には原子炉の水位が低下していなかったにもかかわらず、原子炉水位低の誤信号が発生したことによるものです。

なお、非常用炉心冷却系が作動し、水が原子炉内に注入されたことから、原子炉内の水位が上昇、一部が原子炉格納容器内に漏れました^{* 2}が、水は原子炉格納容器外には漏出しませんでした。

この事象による発電所周辺への放射能の影響はありません。

また、本事象は法律に基づく報告事象ではありません。

以 上

* 1 非常用炉心冷却系とは、原子炉に冷却材喪失が起こった時などに、炉心を冷却するための系統。今回作動したのはその一部である炉心スプレイ系です。

* 2 漏れた量は約 6 リットル。

- （別 紙）1．炉心スプレイ系系統概要図
2．原子炉水位低信号発生メカニズム
3．格納容器内水漏れ概要図